

中国環境規制対応支援業務紹介

日中環境協力支援センター(有)
北京JCE生態環境コンサルティング有限公司

概要	中国環境管理・中国環境ビジネス専門の民間コンサルティング会社		
役員	取締役社長 大野木昇司(京大衛生工卒、京大エネ科修士、北京大環境学院修士)		
設立	2005年(中国法人2009年)	URL	www.jcesc.com
主な業務	<p>①日系企業の中国環境ビジネスの支援 市場調査(FS)、戦略作り、ビジネスマッチング、情報サービス、現地事務所代行、交渉支援、翻訳通訳など</p> <p>②中国進出企業の環境規制対応コンサル 排出基準、環境管理法令情報、化学物質制度情報、環境順法監査など</p> <p>③中国環境産業・政策の調査研究</p> <p>④中国危険化学品登記・SDS作成</p>		
過去数年の主な取引先	<p><行政、公益法人> IGES、JETROなど</p> <p><民間企業> 化学メーカー、家電メーカー、OA機器メーカー、電子部品メーカーなど</p>		
加盟団体	中国日本商会、中国低炭素経済発展促進会など		
取引銀行	三菱UFJ銀行／みずほ銀行		
ブログ	中国環境情勢ブログ https://jcesc.muragon.com/		

代表者紹介

- 大阪府出身 高校時代に環境保全を生涯の仕事とすることを決心
- 1995年京都大学工学部衛生工学科卒
- 1998年京都大学大学院エネルギー科学研究科修士課程修了
- 1999年～2002年 北京大学環境学院修士課程
- 2003年～2005年 国土環境(株)北京事務所、(社)海外環境協力センター客員研究員などを兼任
- 2005年より現職 (年の7割は北京滞在、3割は東京滞在)



<その他の社会活動(以前のものも含む)>

桜美林大学北東アジア総研/立命館サステナビリティ学研究センター 客員研究員

(国)奈良先端科学技術大学院大学 産学連携アドバイザー

科学技術振興機構中国総研 社会科学系ステアリングコミッティ委員

(財)関西社会経済研究所 環境・エネルギー経済分析研究会 メンバー(以前)

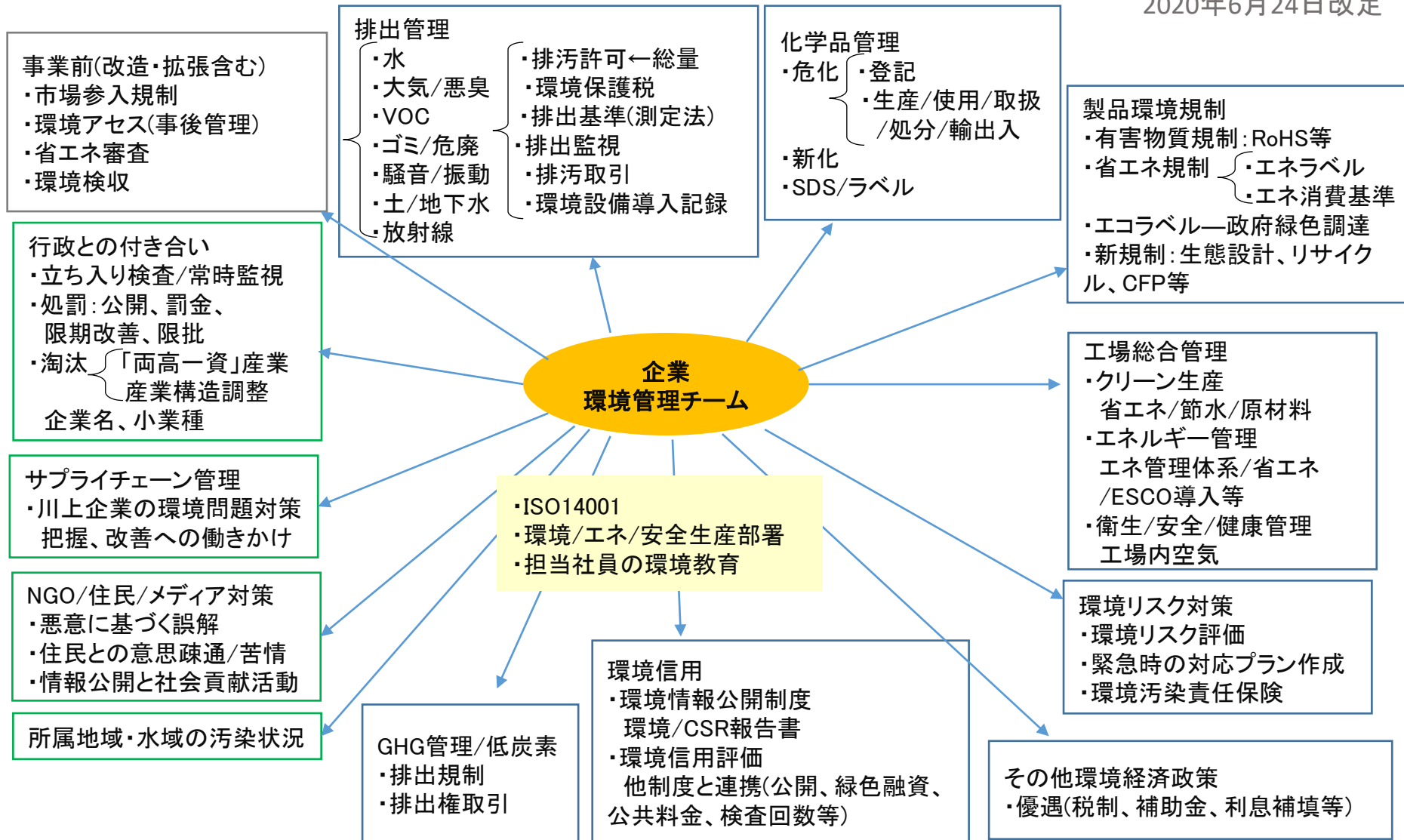
中国環境保護産業協会 循環経済委員会 諮問委員(以前)

国際省エネ環境協会 諮問委員(以前)

福岡県アジアビジネスセンター アドバイザー 東京商工会議所 アドバイザー

中国内企業環境管理制度の全体像

2020年6月24日改定



中央で業種別にも規制。地方(省-市(区)-開発区)でも別途制度を規定
 ※上級規制の趣旨に反するものは違法

当社の中国内企業環境管理支援業務紹介

No.	業務名称	概要
1	無料週刊メルマガ 『中国環境・化学品・エネルギーレポート』	報道済み中国環境情報や環境標準情報等を収録
2	『週刊中国環境規制/ビジネスレポート』	環境規制を解説、毎回20～30頁以上
3	カスタマイズ型環境法令解説	個別工場向けレポート作成
4	個別工場向け環境法令順守監査	個別工場向け環境順法監査
5	環境規制レクチャー/講演	日本・中国で環境規制講演
6	中国環境・省エネ・化学物質標準の正規販売	著作権ある(和訳)標準を販売
7	工場跡地土壌調査・修復調査事業	日系土壌浄化企業をアレンジ
8	中国最大級環境展-中国環境博覧会出展窓口	日系出展数No1の中国環境展
9	その他	・環境規制調査 ・環境管理アドバイザー(顧問) ・環境ビジネスコンサルティング

当社が選ばれる理由

- 中国で環境規制が最も厳しい北京市に立地
 - 業務エリアは中国全土、なかでも日系企業の多い上海市・江蘇省等にお客様多数
- 中国環境規制動向の情報が最も集まる北京市に立地
 - 環境政策の意思決定者や有力環境研究者が北京に集中し、情報にアクセスしやすい
- リピーターのお客様が多い
- 公的機関等のセミナーや寄稿が多い
 - 講演: ジェトロ、中国日本商会、日本商工会議所、日中投資促進機構、日中経済貿易センター等
 - 寄稿・取材記事: 日中経協ジャーナル、月刊『環境管理』、化学工業日報等
- 創業者は高校時代より世界の環境問題解決を目指し、環境一筋
 - 3大学で客員研究員、文科省JST-CRSC委員、東商や福岡アジアビジネスセンターのアドバイザ等務める
 - 中国環境保護産業協会循環経済委や中国国際省エネ環境協会の諮問委員等を務める
- 環境分野で多彩な人脈と情報源
 - 中央政府、地方政府、公的研究機関、業界団体、環境メディア、環境NGO(IPE等)
- 主要社員は全て環境分野の日本語・中国語に習熟
 - 環境規制対応は法律知識のみならず、理系・工学系知識も必要
- 工場環境順法診断の経験が豊富で、現場実務に強い
- 環境法令制度の理解が正確
 - 中国環境制度を、断片ではなく全体像で把握
 - 2005年設立当初から毎週、大量の中国環境規制情報に目を通し、中国環境制度の背景や流れを熟知
 - 法律事務所や他のコンサルには解釈の間違いや事実誤認が多い

1.無料週刊メルマガ『中国環境・化学品・エネルギーレポート』

- 既存の中国の環境・化学物質・省エネ情報を一つにまとめたレポート
- 内容:①当社からの案内、②活動紹介、③関連イベント情報、④中国環境ビジネス情報、⑤毎号約50～200件の日本語で読める中国環境ニュース、⑥毎週の環境・省エネ標準情報など

配信:週刊(号外あり)	配信数:15,991アカウント 2020年11月10日現在
料金:無料	号数:934号(since2002) 2020年11月10日現在
形式:メール(テキスト)	バックナンバー https://jcesc.muragon.com/

- ブログでも同一内容を掲載「中国環境情勢ブログ」 <https://jcesc.muragon.com/>
- 中国語版:月刊、31,290アカウント、号数198号
バックナンバーURL www.jcesc.com/cn/melma.html
- 広告出稿可能(中国語版、日本語版共に)
- 登録ご希望の方へ

- 本メルマガ配信を希望される方は、氏名・肩書き・連絡先などを記したメールを「onogish@yahoo.co.jp」までお送りください。
- なお、個人情報の取扱いについては、関連法令、国が定める指針その他の規範を順守し、第三者への提供は行いません。
- 詳細は右URL参照 <http://www.jcesc.com/mailmagazine/>

2.『週刊中国環境規制/ビジネスレポート』

■主な特徴

- メルマガでは対応できない**中国環境規制・化学物質規制・省エネ規制**の情報を網羅的に収録し、**重要な法令情報について解説**を行っています。
- 公布済み法令規制のみならず、**今後の見通しや計画についても解説**します
- 2005年より15年続いている**信頼の情報サービス**。毎回約20～40ページ

■基本配信：週刊レポート（Word形式、週1回配信）

- **中国の環境・化学物質分野の政策・法令・通達・標準**
 - ✓ 分野：大気、水、廃棄物、騒音振動、土壌、リサイクル、モニタリング、中国RoHS等製品環境規制、化学物質規制、CO2規制、工場省エネ規制、緊急対応プラン
- 環境プロジェクト・大手環境企業・環境産業動向情報
- 環境展示会・環境シンポジウム情報
- **国家イベント情報**：臨時環境規制を導入しうる国家イベント情報を収載

■法令速報サービス

- 中国では企業活動分野で毎週、約10～30の環境・化学物質分野の法令・標準が策定/草案公布
- 本サービスでは**環境・化学物質分野の法令速報情報を隔日メール配信**
- 記載情報：公布機関名(日本語)・法令名(日本語)・原文URL

■その他

- **社内共有可能。中国語版も提供可能(追加料金なし)**
- 当社主催の中国環境セミナーに優待価格適用(年間申込時のみ) etc.

■申込方法

年間購読料¥396,000円(税込 3ヶ月以上より申込可能、人民元対応可能；増値税普通発票を発行)

検討のため、**最近の見本を提供可能**

詳細は右URL参照 www.jcesc.com/enw.html

3.カスタマイズ型環境法令解説(1)

在中日系企業に一括提供

地方レベル業種・規模ごとに 中目系企業に

環境法規・規格情報

日中環境協力支援センター

【上海 吉水 中目系環境関連企業】を挙げ、中国環境協力支援センター(東京目黒区)は、中国に工場を置く日系企業向けに、環境関連法規規格を一括提供するサービスを開始した。レベルに合わせた場所のある地方の規制を網羅し、情報収集のほかに専門スタッフの解説も受ける。業種や規模に応じ日中対訳でカテゴリー分けして配布して、

日中対訳で配布

一旦改正増補版を緊要の限として大気や水質を調べた中目系企業向けに、環境十境(各)の分野で、

規格外徹底、強化する方針を打ち出している。また、省や市で独自の法令を制定する必要がある地域では、対訳冊子に追加する。対象冊子は、大気や水質、

日中環境協力支援センターは、2010年の創立が近い情報年誌契約で、環境関係情報の収集が迅速に提供できる。発信、調査マップ、法令に対する解説や工場での対応法を掲載するなど、業種が去事業、09年にも、月ごとに情報更新を設けた。今回の新規開拓も含めて、業種別にも合わせて、現場の工場を訪問し、現地の法令の監査、省エネや化学物質など、各工場の担当者の負担が軽減される。

化学工業日報

危険化学品

中国で規制情報配信

日中環境協力地域の通達も網羅

【上海 吉水 中目系環境関連企業】を挙げ、中国環境協力支援センターは、中国に工場を置く日系企業向けに、環境関連法規規格を一括提供するサービスを開始した。レベルに合わせた場所のある地方の規制を網羅し、情報収集のほかに専門スタッフの解説も受ける。業種や規模に応じ日中対訳でカテゴリー分けして配布して、

■現状の問題点

- 中国環境規制情報を漏れ・遅滞なく収集できている日系企業はほとんどありません
- 中国他社の有料環境規制情報サービス(一部)にも漏れや遅滞があり、解説は少ない
- 中国環境規制は、数が非常に多く複雑で変化も激しい(省級・市級等地方規制もフォロー必要)
- どれが適用されるのかスクリーニング困難
- 知らないうちに策定・改定される
- 日本人担当者は言語の問題あり
- 現場職員の環境規制知識や意識に不安
- 現地環境局からの規制情報は漏れや遅れが多い
- 必要性(上記の問題点を解決)
- グループ全体で環境規制状況を把握可能
- 当社専門家が個別工場向けに適用性を検討
 - 国-省-市の環境・省エネ規制を網羅
 - 上位法令、下位法令、関連法令も参照
 - 策定前規制の動向もフォロー可能

本サービスは、化学工業日報でも紹介されています

右:化学工業日報 2015年9月10日記事

「事故後緊急連絡は、損害を避けるために「事故後緊急連絡は、損害を避けるために」

上:化学工業日報 2015年3月31日記事



3.カスタマイズ型環境法令解説 (2)

■個別工場向け環境法令解説サービスを提供

- 各社別に①立地場所や②業種、③特定要素(重点企業指定、ボイラ等)を絞り、国・省・市の3レベルで漏れなく環境規制情報の収集と解説、工場対応方法の解説を行います。
- 日中両言語対応で、本社と現場で情報共有可能
- 当社で規制情報をスクリーニングし、不要な情報は除外
- 当局による企業指名(重点企業指定、処罰等)の情報も網羅しています
- 今後の環境規制の見通しも簡潔に盛り込んでいます

●各基地要留意の法規等一覧表 / ●各拠点該当箇所一覧表

		期間 2015年●月份 / 期間 2015年●月●																
項 No	法規名称(简称) 日本語文書名(略称)	拠 点 A	拠 点 B	拠 点 C	拠 点 D	拠 点 E	拠 点 F	拠 点 G	拠 点 H	拠 点 I	拠 点 J	拠 点 K	拠 点 L	拠 点 M	拠 点 N	拠 点 O	拠 点 P	
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					○						○						○	
					○						○						○	
											○						○	

※有△标:和贵司有一点关系 / △マーク:少し関係あり
 ※有○标:和贵司有关系 / ○マーク:関係あり

サンプル形式↑→

番号: 2015●●	文件名称: ●	
发布日期: 2015年●●	公开日期: 2015年●●	实施日期: 2015年●●
发布单位: ●		制修订: ●
网址		
主要内容及其解释		
1. 主要内容: ●●		
具体应对措施		
1. ●●		

番号: 2015●●	文書名: ●	
公布日: 2015年●●	公開日: 2015年●●	施行日: 2015年●●
公布機関: ●		制定改定: ●
URL		
主要内容とその解説		
1. 主な内容と目標: ●●		
具体的な対応策		
1. ●●		

3.カスタマイズ型環境法令解説 (3)

■ 対象範囲

- 分野別: 排水/節水、大気/VOC、産廃/危険廃棄物、土壌汚染対策、騒音/振動
- 制度別: 環境アセス、環境保護税、汚染排出許可、環境情報公開、環境リスク対策制度(環境保険、環境緊急対応プラン等)、汚染源モニタリング等
- 工場管理: 清潔生産(クリーナープロダクション)、ISO14001、省エネ制度、CO2規制
- 化学物質(一部分): 新規化学物質登記、危険化学品の登記、SDS、安全ラベル
- 対象外: 労働衛生、生産安全、消防

■ 手順1: 初期業種確定調査

- 業務開始時に、立地場所(省級規制と市級規制を調査する必要あり)、所属業種、原料と出荷製品、ボイラ、危険化学品、危険廃棄物、社内実験室、重点企業リスト、認証取得などの状況を確認します

■ 手順2: 既存環境法令規制調査(一覧リストと解説; 省略可能)

- 適用対象となる国・省・市の環境規制の一覧リストを作成します。必要な規制を選んで解説することも可能です

■ 手順3: 継続的環境法令規制調査(毎月、毎四半期)

- 適用対象となる国・省・市の環境規制の一覧リスト及び解説レポートを作成

■ 質問への回答

- 規制解説に関する質問や、貴社が得た一覧リストにない法令本文について、ご要望に基づいて、解答・解説を行います
- 別途本格的調査が必要となる場合を除き、無料に対応します

■ 申込方法

- 料金は工場数、言語、頻度、既存規制調査のレベルなどで異なります。詳細はご相談下さい。
- 秘密保持条項を含む業務契約書を締結した上で、業務開始します
- 定期解説レポートのサンプルを提供可能。日本円でも人民元でも可能

中国環境規制情報サービス比較表

	当社 週刊レポ	当社 カスタマイズ	外資 S社	中国 N社	日系 E社	日系 I社
言語	日/中	日/中	中	中	日	日
形式	NL	RP	DB	DB	DB+NL	DB
分野	F/P	F/P	F/P	F/P	F/P	P
指定企業情報	×	◎	×	×	×	×
スクリーニング	×	◎	×	×	×	×
地方法令情報	○	◎	○	△	△	×
速報性	◎	△	△	△	△	△

形式 NL: ニュースレター形式 DB: データベース形式 RP: レポート形式

分野 F: 工場 P: 製品

(2018年12月当社調べ)

4.工場向け環境順法監査診断

＜在中日系企業で環境処罰事例が多数＞

- 環境法令違反のない日系企業はほとんどありません
- 日系企業でも環境管理は現地職員任せであり、クロスチェックできないブラックボックス化しています
- 中国の監査企業は厳しいとは限らず、本社による監査や日本の監査企業(保険会社含む)は現地法令を熟知せず効果的な監査ができない

＜よくある誤解＞

- ①ISO14001取得、②当局の立入検査指摘に対応済み、③日本式管理を導入、④環境投資が多額、⑤顧問弁護士起用

→このような日系企業でも環境処罰事例が相次いでいます

→ISO14001は環境管理システムの運用であり、環境順法を担保しない

→当局立入検査は個別分野の検査であり、今後も別の分野で検査されうる

→環境投資が多ければ環境設備は問題なしですが、ソフト面を担保しない

4.工場向け環境順法監査診断

■本サービスでは、工場の環境法令順守状況を現場で監査診断します

■ローカル環境法令順守状況に特化し、外部第三者の目からリスクを洗い出し

＜対象範囲＞

- 分野別：排水/節水、大気/VOC/悪臭、産廃/危険廃棄物、土壌汚染対策、騒音/振動
- 制度別：環境アセス、環境保護税、汚染排出許可、環境情報公開、環境リスク対策制度(環境保険、環境緊急対応プラン等)、汚染源モニタリング等
- 工場管理：清潔生産(クリーナープロダクション)、ISO14001、省エネ制度、CO2規制
- 化学物質(一部)：新規化学物質登記、危険化学品の登記、SDS、安全ラベル
- その他：環境規制情報取得の現状、各種環境届出、許認可状況
- 対象外：労働衛生、生産安全、消防、CSR(環境以外)、環境測定

※ISO14000シリーズに基づく管理体制の検査ではなく、法令順守検査に特化

■事前に個別工場向け適用法令・政策・基準リスト一覧を作成

□単純な一覧表だけでも十数頁あります

■事後に監査診断報告書を日本語・中国語で作成

■サプライヤに対しても実施可能(サプライヤの協力が前提)

5. 中国環境規制レクチャー/講演

■当社は中国環境規制に関するレクチャー/講演を多数実施

✓2018年1月～2019年3月で34回レクチャー/講演を実施

①個別企業向け社内レクチャー/講演

- これまでに家電メーカーA本社(大阪)、電機メーカーB本社(東京)、電機メーカーC中国拠点(上海)、D化学メーカー(上海、蘇州)にて実績あり
- 内容・日時・場所等の詳細はご要望に応じて対応可能
- ご要望に基づき、お見積額を提示

②当社主催の中国環境規制/ビジネスセミナー

- これまでに東京、大阪、北京にて計25回開催
- 過去の内容・日時・場所等詳細は以下サイト参照
- 詳細は右URL参照 www.jcesc.com/seminar.html

③業界団体/セミナー会社主催のセミナーにて 数十回講演

- これまでジェトロ、東京商工会議所、大阪商工会議所、東京都中小企業振興公社、中国日本商会(在北京日本商工会議所)、日本産業機械工業会などの業界団体や、セミナー会社で数十回の講演の実績あり



右3写真は第11回当社セミナー
(2014年10月6日、東京)

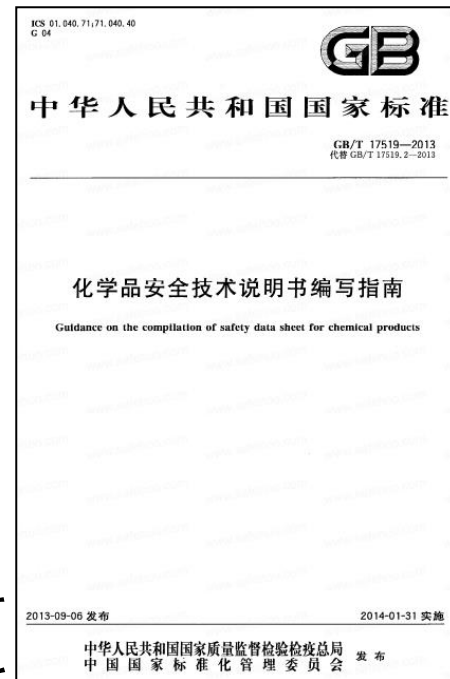
6. 中国環境・省エネ・化学物質標準の正規販売

■標準規格には著作権あり、以下には著作権侵害の可能性あり

- (1) 無許可でダウンロードして使用
- (2) 無許可でスキャンして社内共有
- (3) 無許可で和訳して使用
- (4) 正規の販売店・代理店以外から購入
- 正規販売権のない企業による販売にご注意下さい

■当社経由で購入される場合、以上の問題はなく、コンプライアンス上安心です。当社は日本総代理フォトハイウェイ社と契約しており、貴社名のウォーターマーク(透かし)を入れたPDF版標準を正規販売しています。

■当社は販売時に、環境管理・省エネ・化学物質分野の国家標準・業界標準・地方標準について、コンサルティング・相談も対応しております

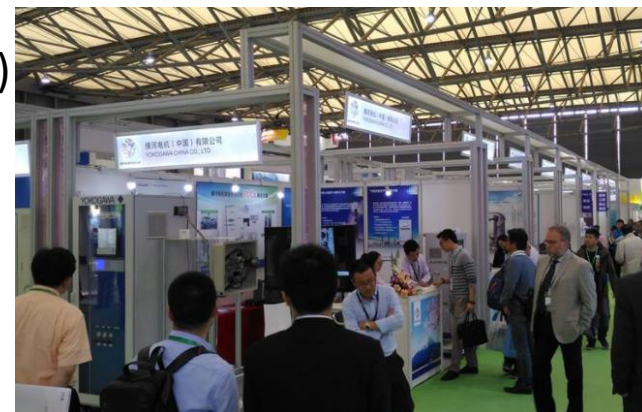


8. 中国最大級の環境展—中国環境博覧会(IE EXPO)

第22回中国国際環境博覧会(IE EXPO2020; 旧IFAT China)

■ 2021年4月20日～22日上海新国際展覽センター(浦東地区)

出展企業数(予定)	2000社
展示面積(予定)	15万㎡
来場者数(予定)	8万人(業界関係者のみ)
日本出展窓口	日中環境協力支援センター
日本後援	ジェットロ上海(申請予定)
紹介URL(日本語)	(作成中)



■ 前回の概要

- コロナ禍から、リアルの展示会が回復して間もない2020年8月13日～15日に開催、1851社が出展(過去2番目の出展数)。海外からは24の国と地域から出展、そのうち日系は約30社。見学者数は3日間のべ7.3万人(業界関係者のみ、前年と同レベル)

■ シリーズ環境博覧会

- 以下のシリーズ中国環境博覧会の出展を受け付けています
- 2021年4月20日～21日 上海会場(上述情報)
- 2021年7月08日～10日 成都会場
- 2021年9月15日～17日 広州会場

9. その他—中国環境規制調査

■当社は中国環境規制・環境ビジネス調査を請負います

■主な対象分野

- 分野別：排水/節水、大気/VOC、産廃/危険廃棄物、土壤汚染対策、騒音/振動
- 制度別：環境アセス、環境保護税、汚染排出許可、環境情報公開、環境リスク対策制度(環境保険、環境緊急対応プラン等)、汚染源モニタリング等
- 工場管理：清潔生産(クリーナープロダクション)、ISO14001、省エネ制度、CO2規制
- 化学物質(一部分)：新規化学物質登記、危険化学品の登記、SDS、安全ラベル
- 環境ビジネス：中国環境市場、個別環境技術の市場展開可能性等
- サプライヤ環境リスク調査
- 対象外：労働衛生、生産安全、消防

9. その他ー中国環境管理顧問(アドバイザー)

■当社は中国環境管理顧問業務を請負います

■主な業務内容

□毎月10件以内のちょっとした環境規制相談に回答

□分野:環境管理(公害対策;廃ガス・廃水・廃棄物・土壌関連)、CO2、省エネ

□対象外分野:化学物質管理、労働衛生、生産安全、消防

□対応言語:日本語

□相談内容によっては、作業量が多くなり、別途料金が発生することがあります

お気軽にご相談下さい

※貴社の実情や予算に合わせて提案見積書を作成します

日本担当

■東京都目黒区目黒1-4-8 東レクビル7B

(JR目黒駅徒歩1分)

■電話03-5434-6775 E-mail: web@jcesc.com

■担当 大野木

中国担当

■北京市朝陽区農展館南路5号 京朝大廈11層1-7内11003号室

■電話010-6216-6836 E-mail: web@jcesc.com

■担当 大野木、内海

・「中国環境・化学品・エネルギーレポート」

中国環境情報収集に役立つ無料の週刊メールマガジン「中国環境・化学品・エネルギーレポート」を発行中。ご希望の方は、お名刺をお渡しくださるか、メールアドレス(onogish@yahoo.co.jp)まで連絡ください。